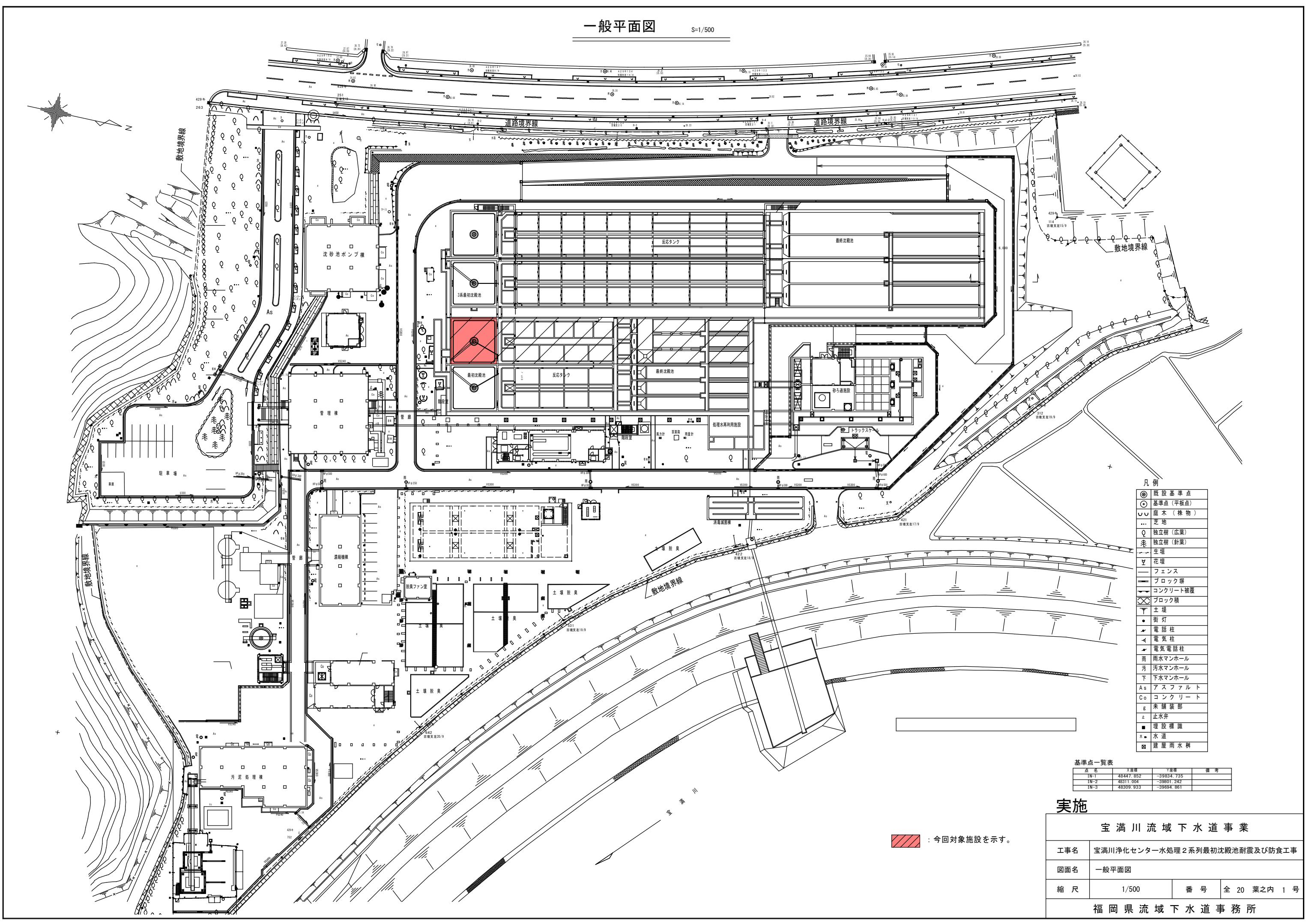


一般平面図

S=1/500



- 凡例
- ◎ 既設基準点
 - 基準点(平板点)
 - 〰 庭木(株物)
 - ... 芝地
 - 独立樹(広葉)
 - △ 独立樹(針葉)
 - 生垣
 - ▽ 花壇
 - フェンス
 - ブロック塀
 - コンクリート被覆
 - ▨ ブロック積
 - 土堤
 - 街灯
 - ⚡ 電話柱
 - ⚡ 電気柱
 - ⚡ 電気電話柱
 - 雨 雨水マンホール
 - 汚 汚水マンホール
 - 下 下水マンホール
 - A8 アスファルト
 - Co コンクリート
 - R 未舗装部
 - 止 止水弁
 - 埋設標識
 - 水道
 - 建屋雨水溝

基準点一覧表

点名	X座標	Y座標	備考
IN-1	48447.852	-39834.735	
IN-2	48311.004	-39801.242	
IN-3	48309.933	-39894.861	

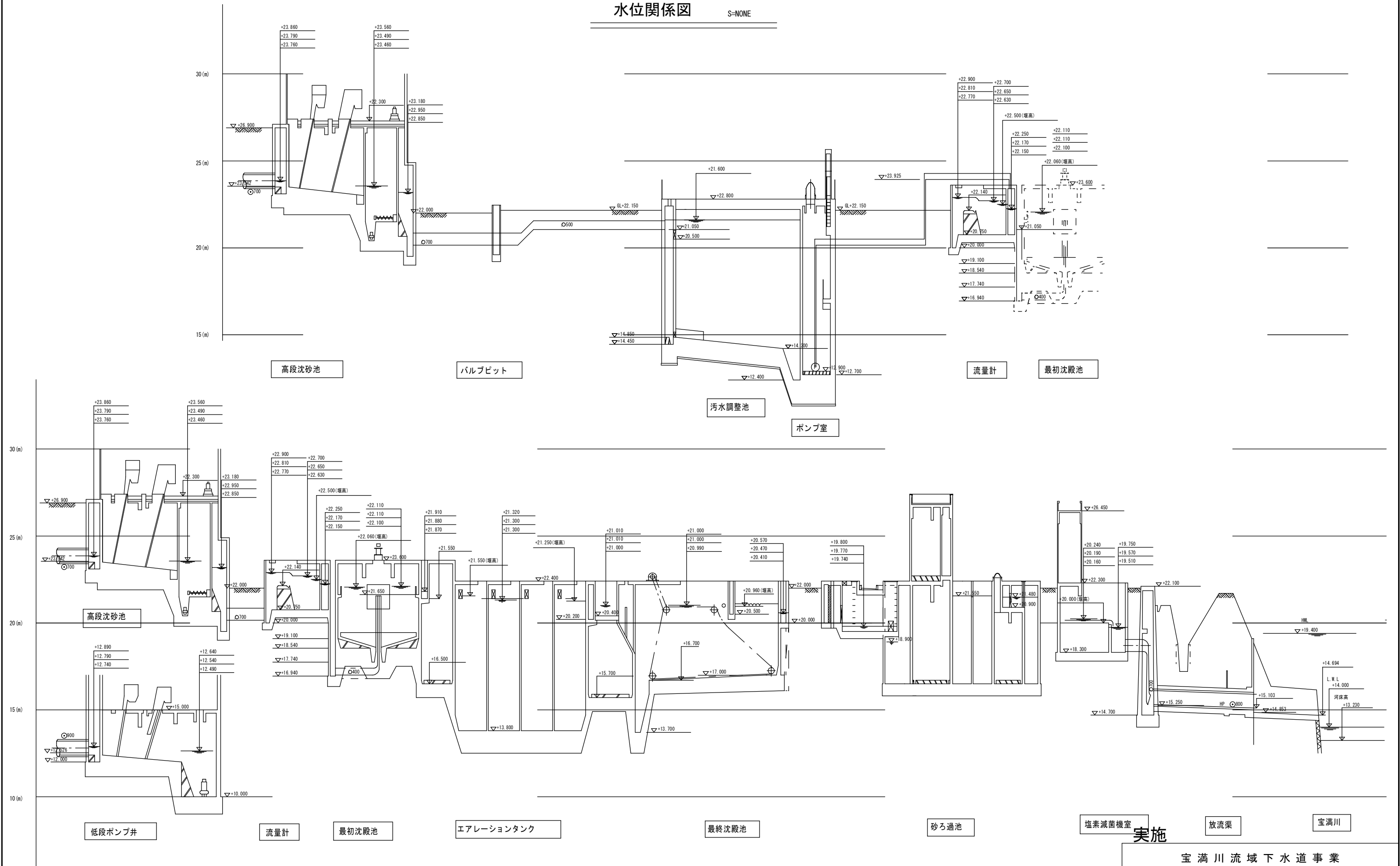
実施

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事		
図面名	一般平面図		
縮尺	1/500	番号	全20葉之内1号
福岡県流域下水道事務所			

：今回対象施設を示す。

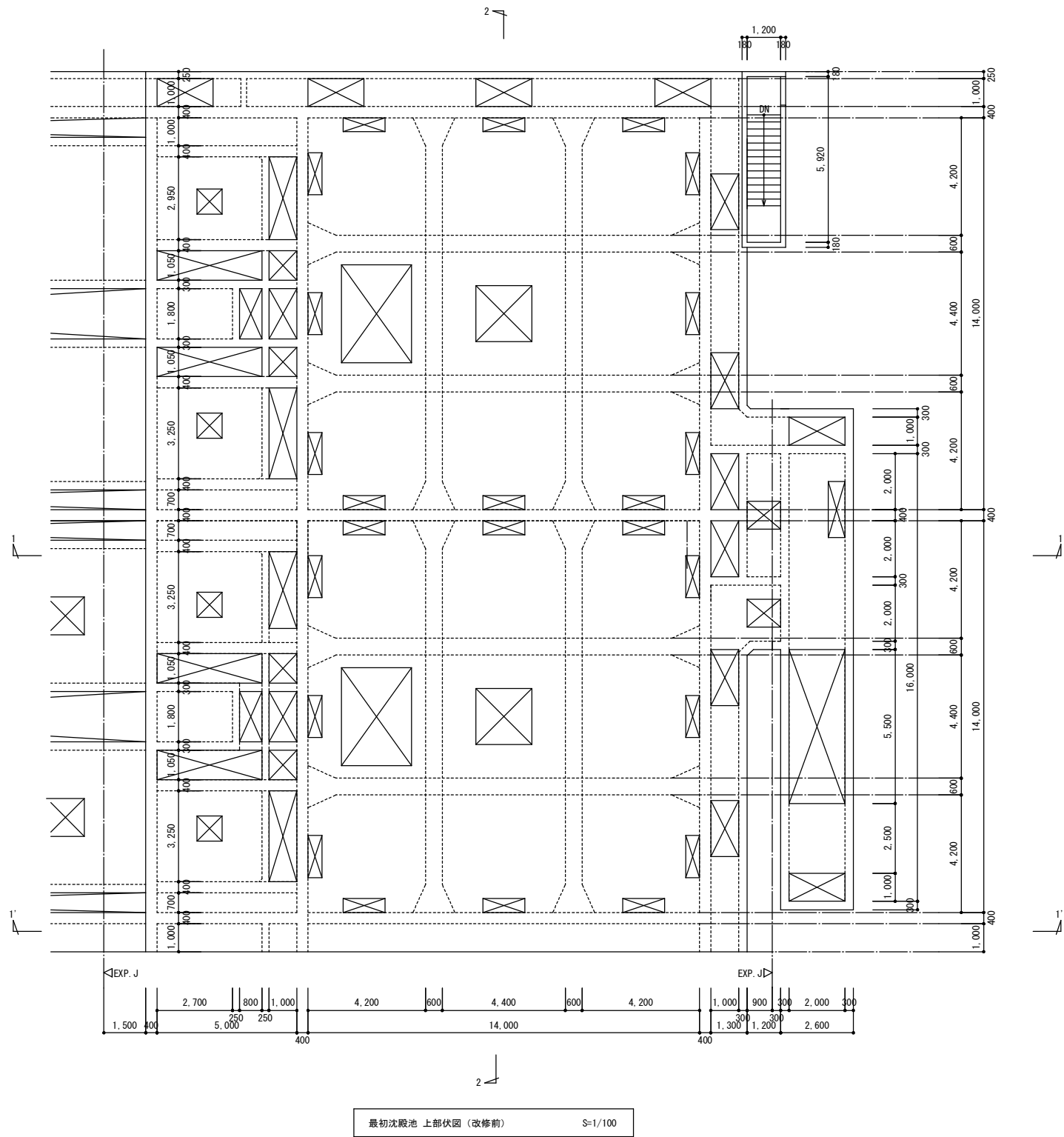
水位関係図

S=NONE



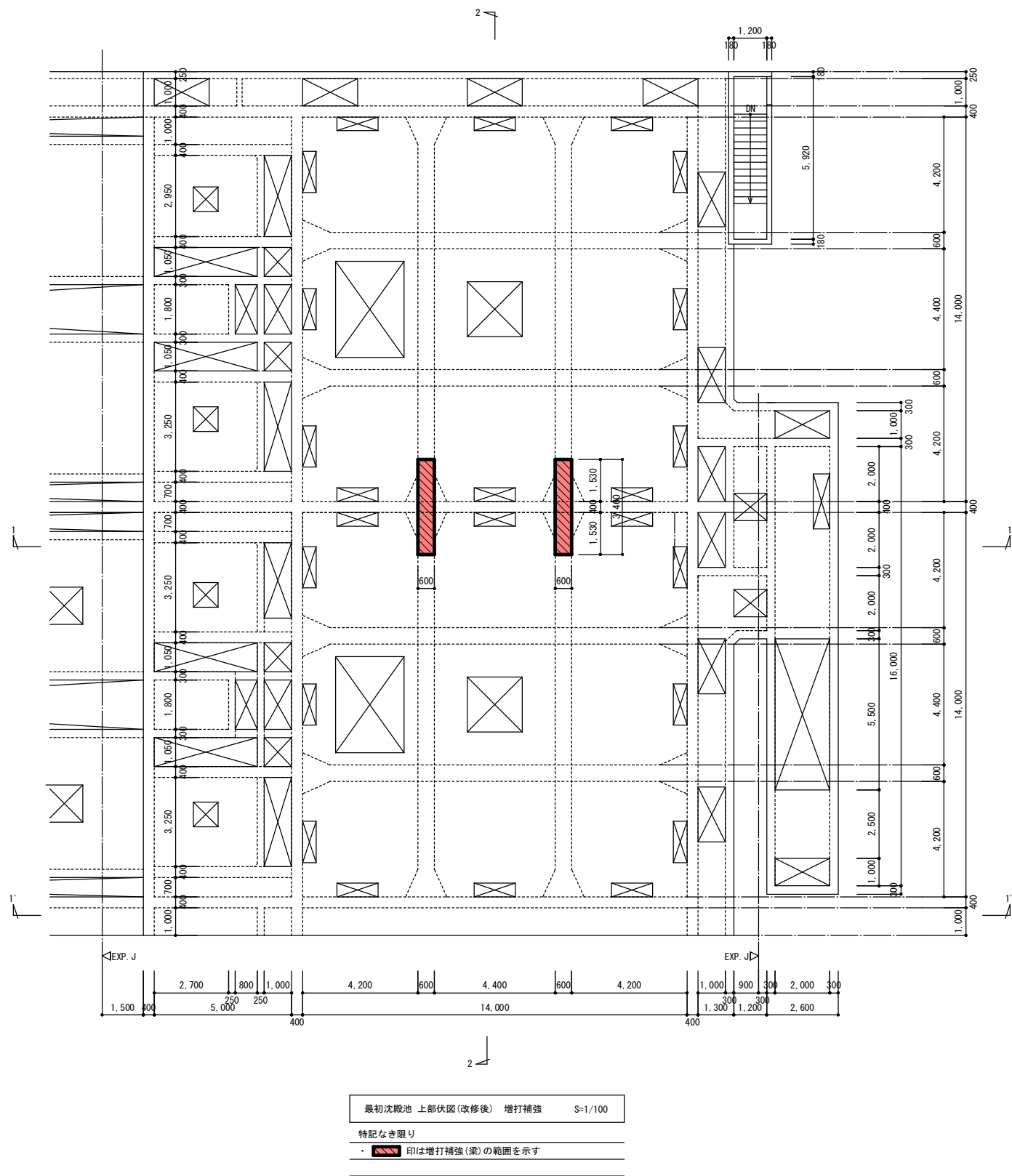
実施

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事		
図面名	水位関係図		
縮尺	NONE	番号	全20葉之内2号
福岡県流域下水道事務所			



実施

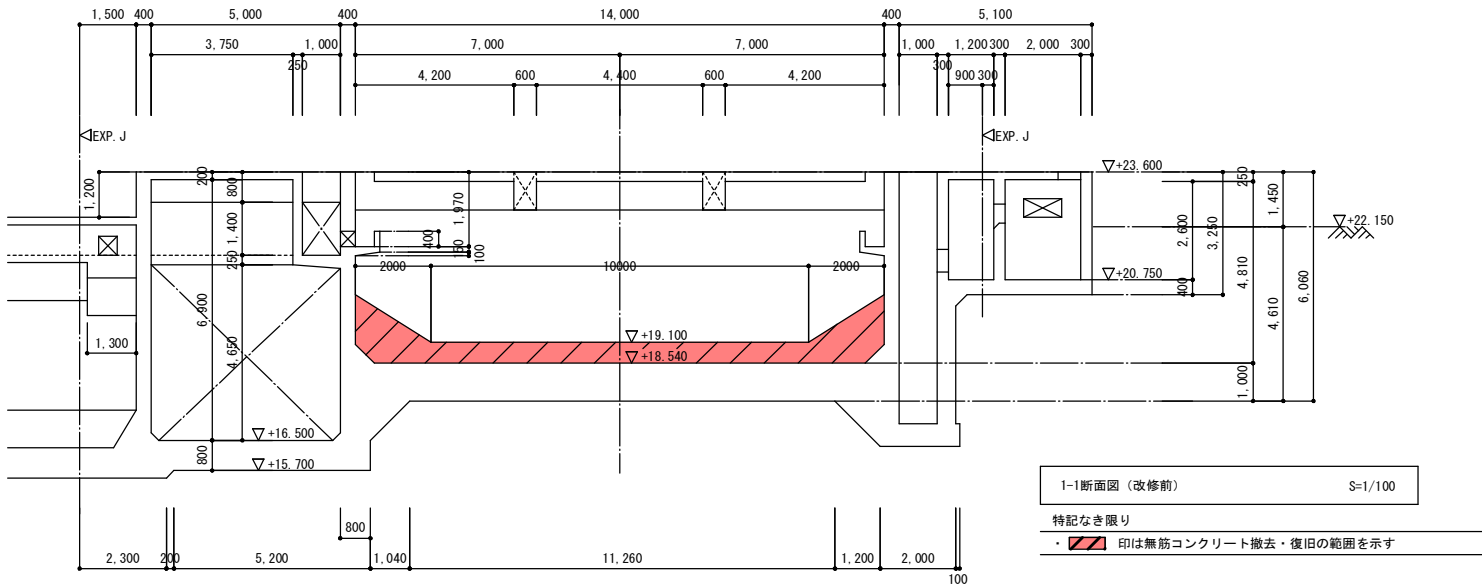
宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事		
図面名	最初沈殿池 上部伏図 (改修前)		
縮尺	1/100	番 号	全 20 葉之内 3 号
福岡県流域下水道事務所			



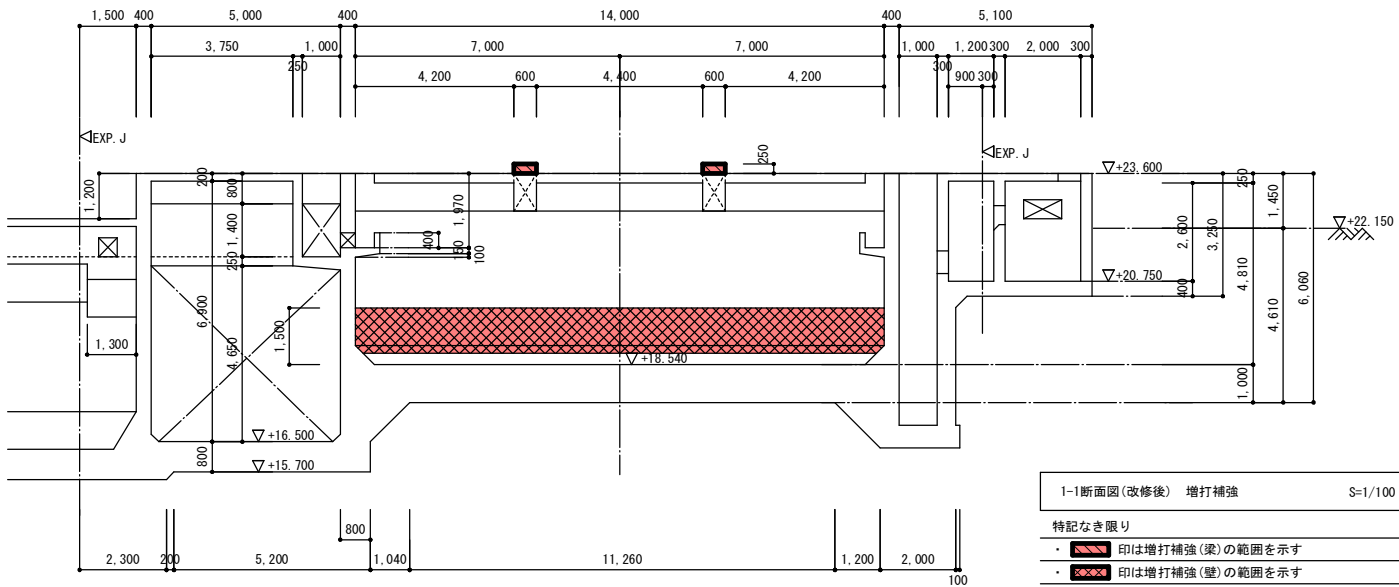
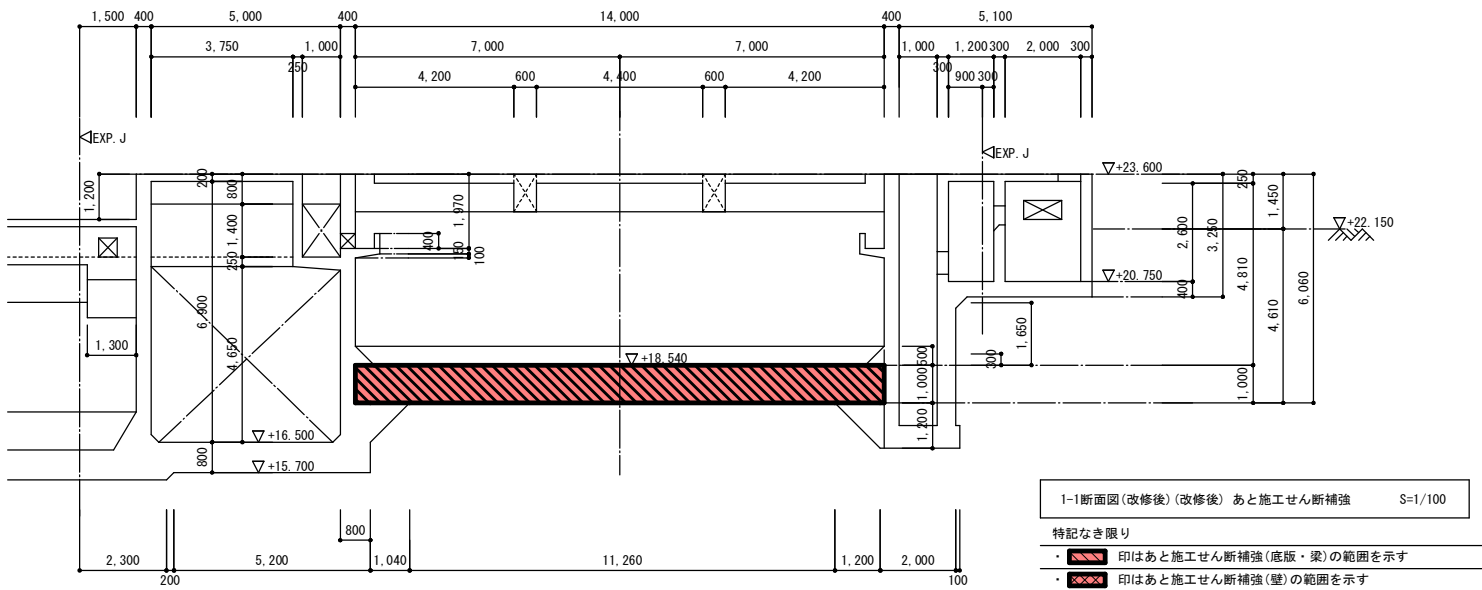
実施

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事		
図面名	最初沈殿池 上部伏図(改修後) 増打補強		
縮尺	1/100	番 号	全 20 葉之内 4 号
福岡県流域下水道事務所			

改修前



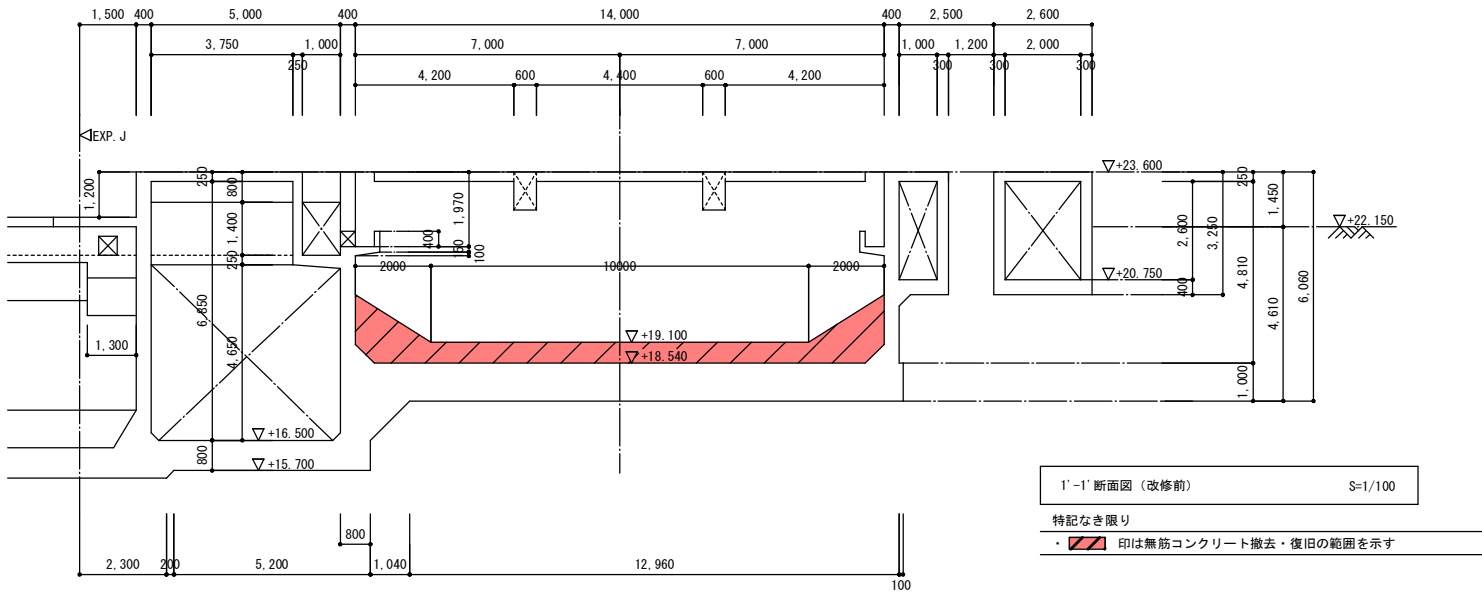
改修後



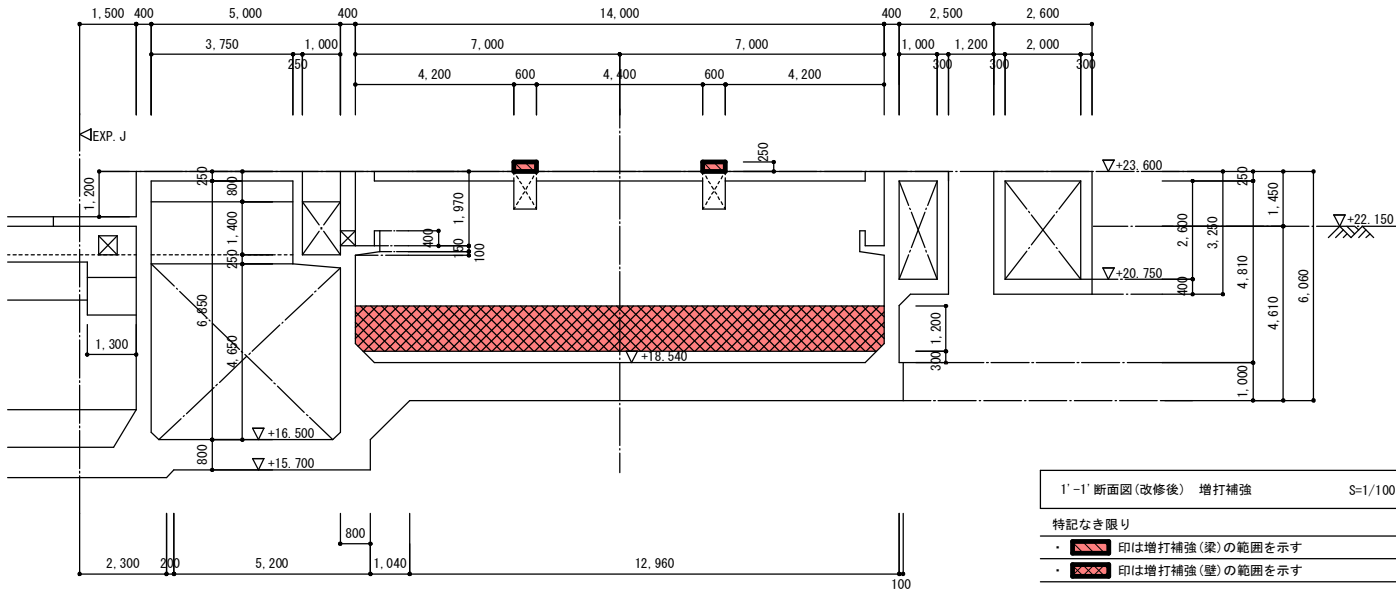
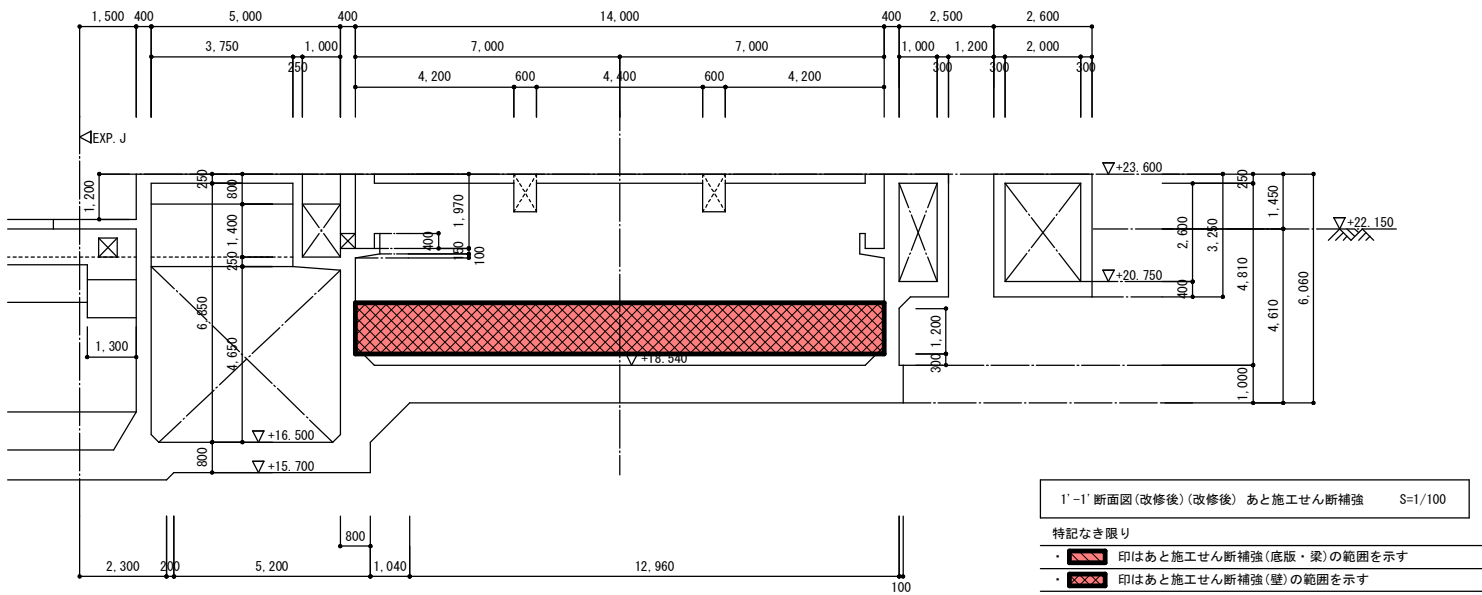
実施

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事		
図面名	最初沈殿池 断面図(1) (改修前・後)		
縮 尺	1/100	番 号	全 20 葉之内 5 号
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			

改修前



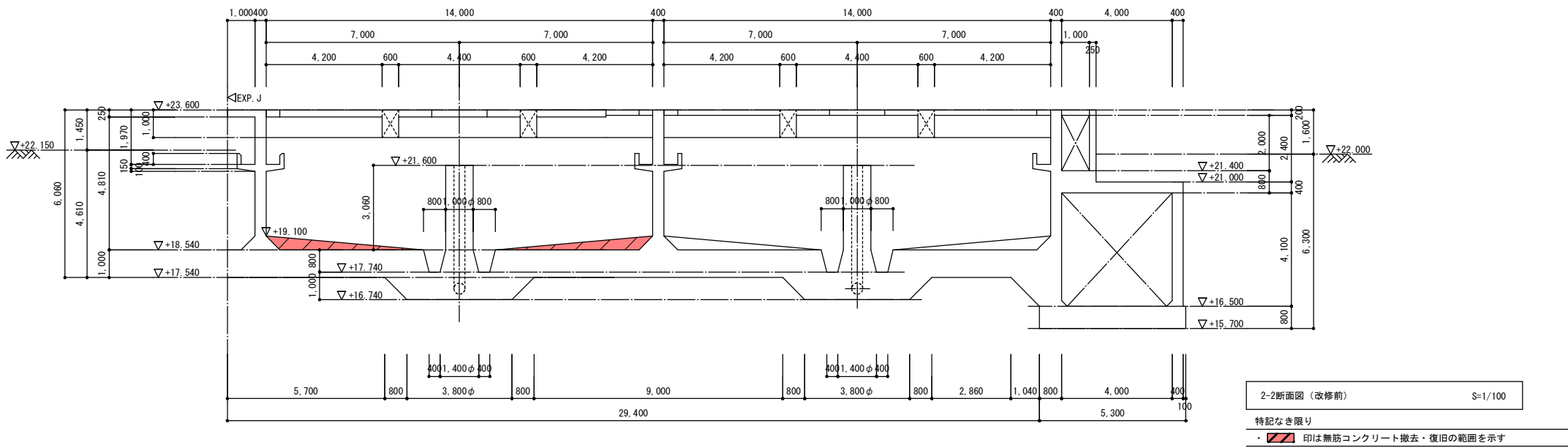
改修後



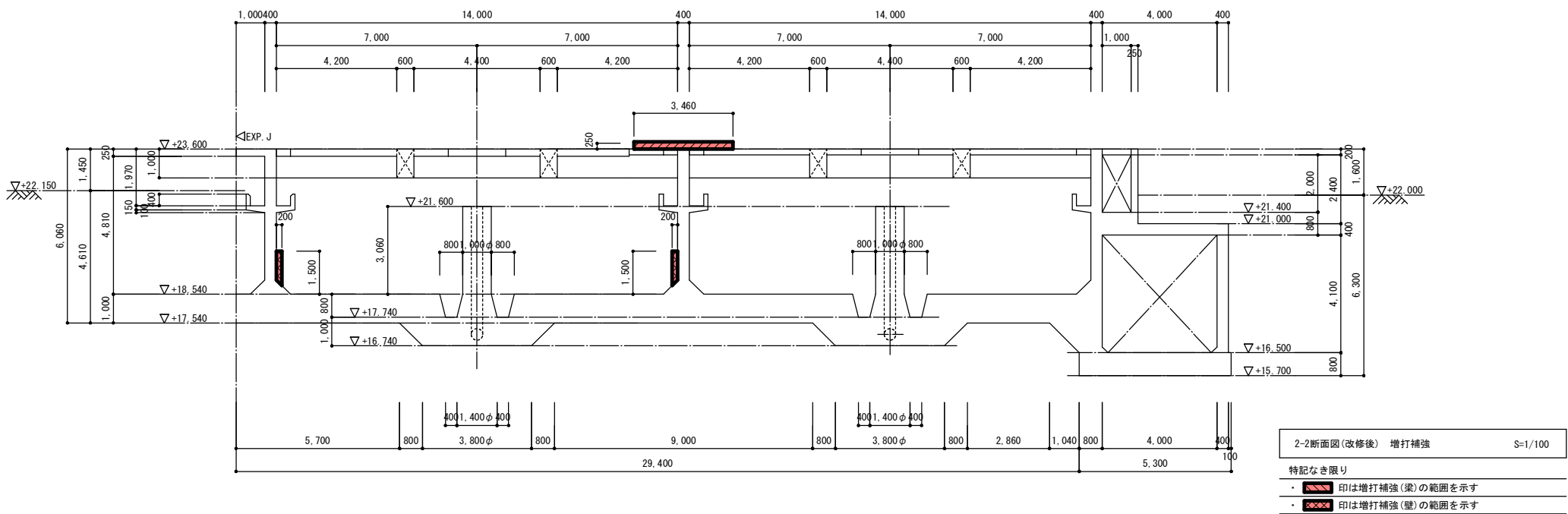
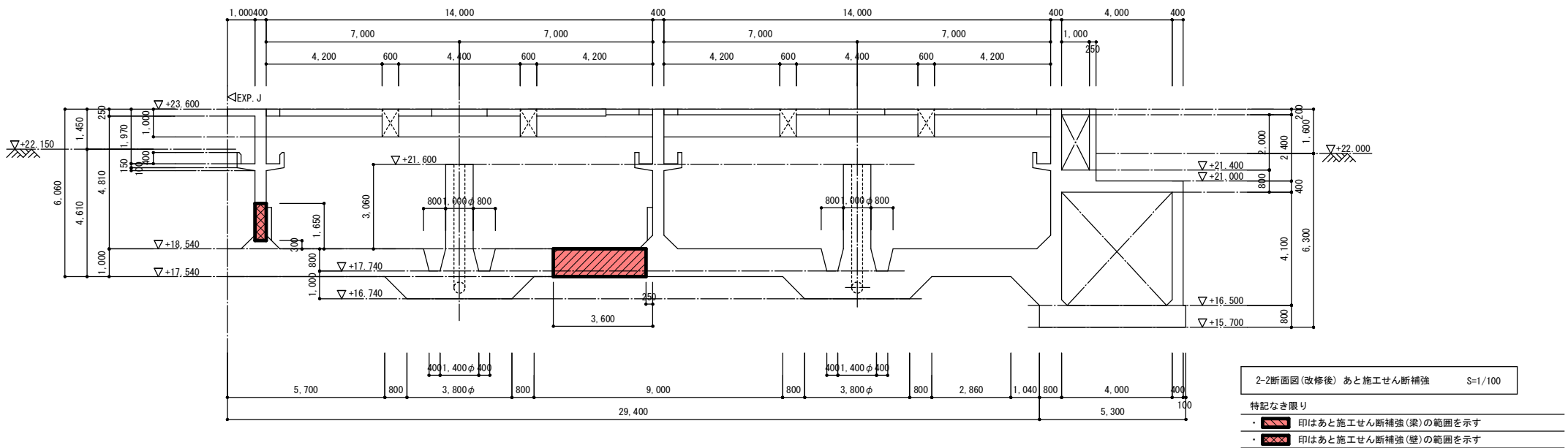
実施

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事		
図面名	最初沈殿池 断面図(2) (改修前・後)		
縮尺	1/100	番号	全 20 葉之内 6 号
福岡県流域下水道事務所			

改修前

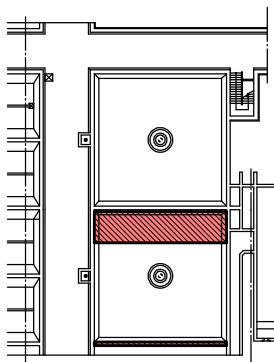


改修後



実施

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事		
図面名	最初沈殿池 断面図(3) (改修前・後)		
縮尺	1/100	番号	全 20 葉之内 7 号
福岡県流域下水道事務所			



KEY PLAN

EXP. J

1,500 400 5,000 400 7,000 7,000 400 1,000 500 700

底板あと施工せん断補強鉄筋配筋図 1/50

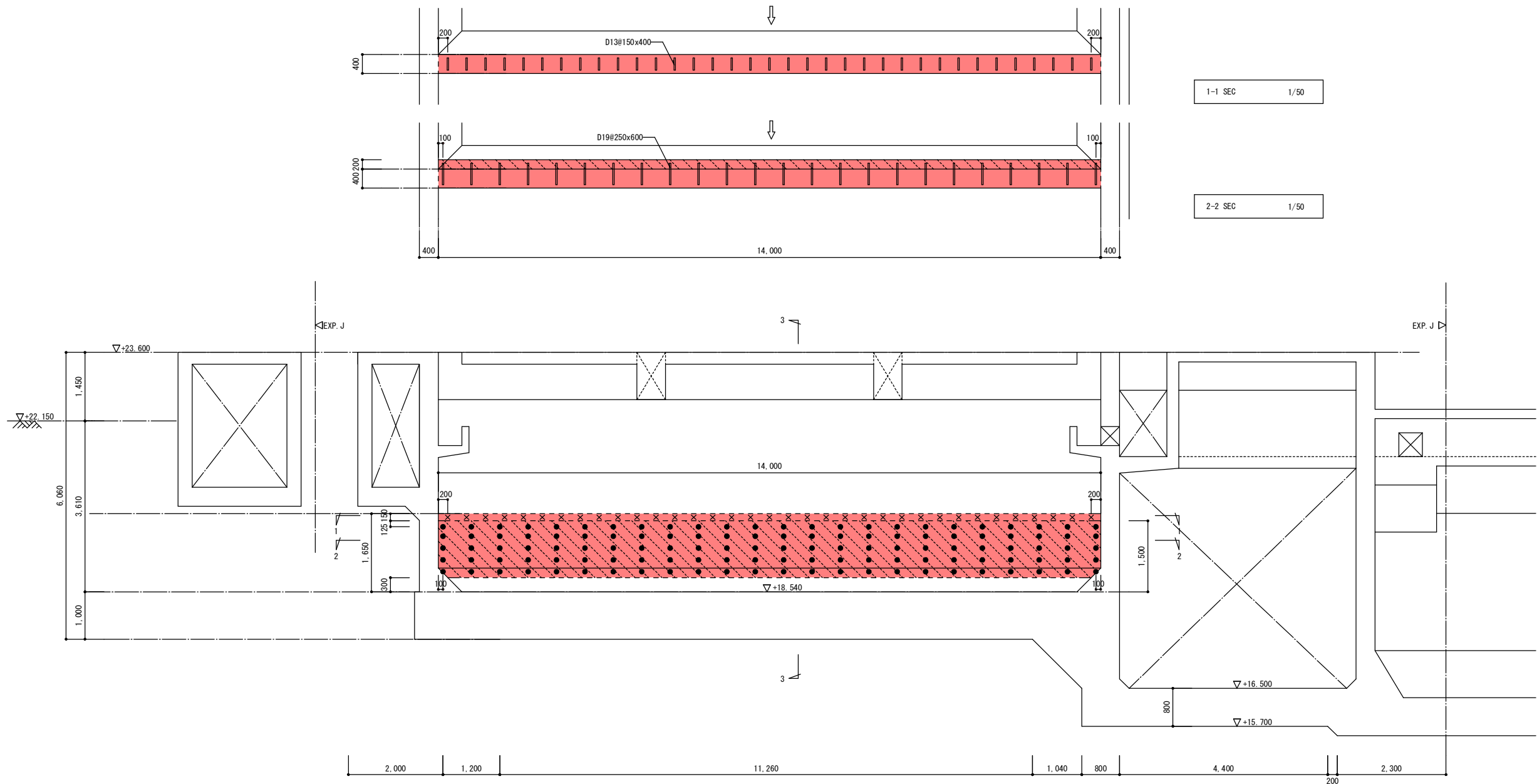
特記なき限り
・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
・印はあと施工せん断補強鉄筋D29を示す
・印は増打補強の範囲を示す(別図参照)
・図中の は施工方向を示す

注記(あと施工せん断補強鉄筋工法)
1. 適用工法は、(財)土木研究センター技術審査証明を取得した工法を採用すること。
2. 使用鋼材は、異形棒鋼SD345とする
3. 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探索機等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける
4. 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカーの埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する
5. アンカー削孔時に既存鉄筋に当たった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する
6. 上記で使用しない孔は、セメントモルタル等を充填する
7. あと施工せん断補強筋の打設位置は、鉄筋探索後決定すること
8. 背面側からあと施工せん断補強筋の先端までの距離はL4、施工上の押し抜けを防止するため50mm以上確保することとする
9. あと施工鉄筋工の削孔時に既存鉄筋に当たった場合は直ちに作業を停止し、工事監督員と協議のうえ以降の対応要領を定めること



実施

宝満川流域下水道事業

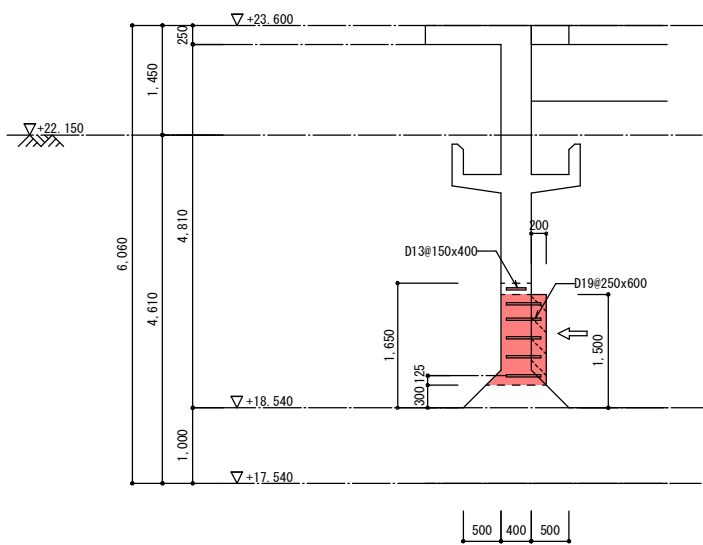
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事		
図面名	最初沈殿池 あと施工せん断補強(1)		
縮尺	1/50	番号	全20葉之内8号
福岡県流域下水道事務所			



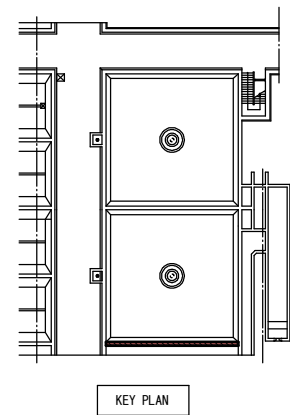
壁あと施工せん断補強鉄筋配筋図 1/50

特記なき限り
・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
・×印はあと施工せん断補強鉄筋D13を示す
・●印はあと施工せん断補強鉄筋D19を示す
・印は増打補強の範囲を示す(別図参照)
・図中の  は施工方向を示す

注記(あと施工せん断補強鉄筋工法)
1. 適用工法は、(財)土木研究センター技術審査証明を取得した工法を採用すること。
2. 使用鋼材は、異形棒鋼SD345とする
3. 穿孔前に、既存鉄筋の位置を鉄筋探索機等により確認し、既存鉄筋の損傷を極力避ける
4. 施工に際し、アンカーの径・深さ・位置を確認し、アンカーの埋込み前には穿孔内の切り粉等を除去する
5. 上記で使用しない孔は、セメントモルタル等を充填する
6. あと施工せん断補強筋の打設位置は、鉄筋探索後決定すること
7. 背面側からあと施工せん断補強筋の先端までの距離はL4、施工上の押し抜けを防止するため50mm以上確保することとする
8. あと施工鉄筋工の削孔時に既存鉄筋に当たった場合は直ちに作業を停止し、工事監督員と協議のうえ以降の対応要領を定めること

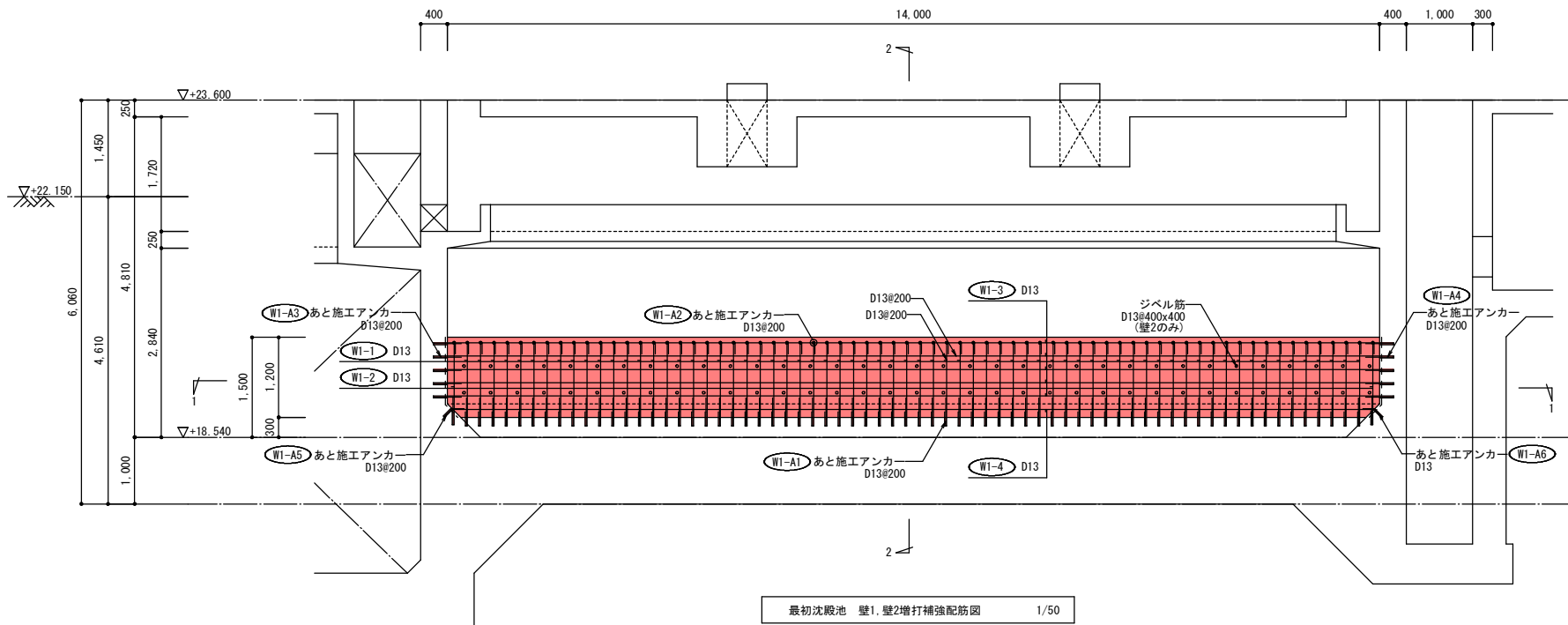


3-3 SEC S=1/50



実施

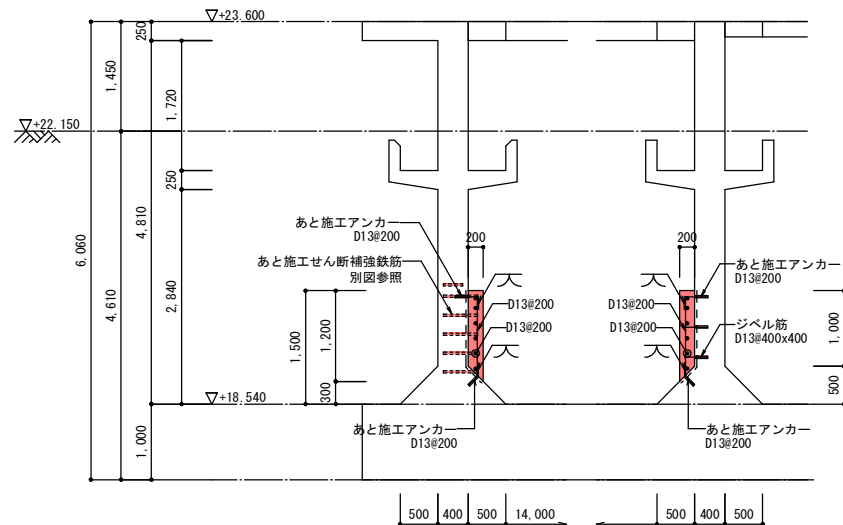
宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事		
図面名	最初沈殿池 あと施工せん断補強(2)		
縮尺	1/50	番号	全20葉之内9号
福岡県流域下水道事務所			



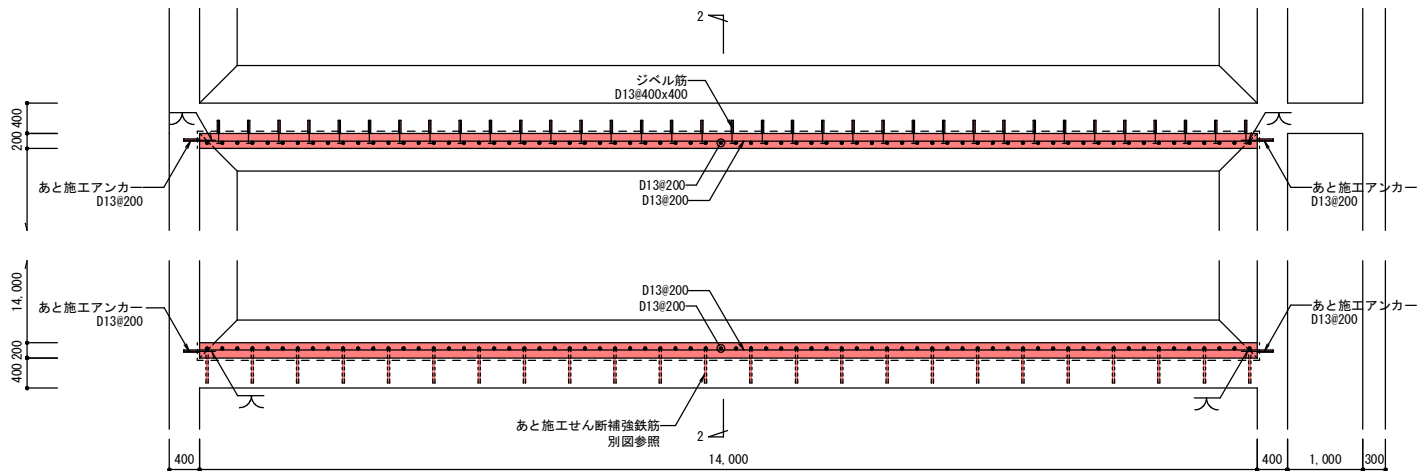
最初沈殿池 壁1, 壁2増打補強配筋図 1/50

- 特記なき限り
- ・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
 - ・あと施工アンカーの有効埋込長は12dとする
 - ・ジベル筋の有効埋込長は12dとする
 - ・ジベル筋はナット付きとする
 - ・ジベル筋は壁2のみとする
 - ・--- 印は目荒しの範囲を示す

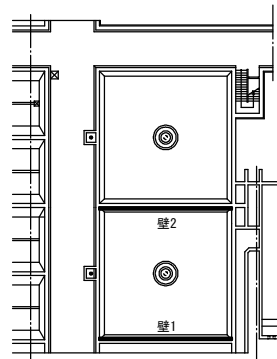
既存壁リスト	
版厚	400
位置	両面
上端筋	D16#200
下端筋	D16#200



2-2断面配筋図 1/50



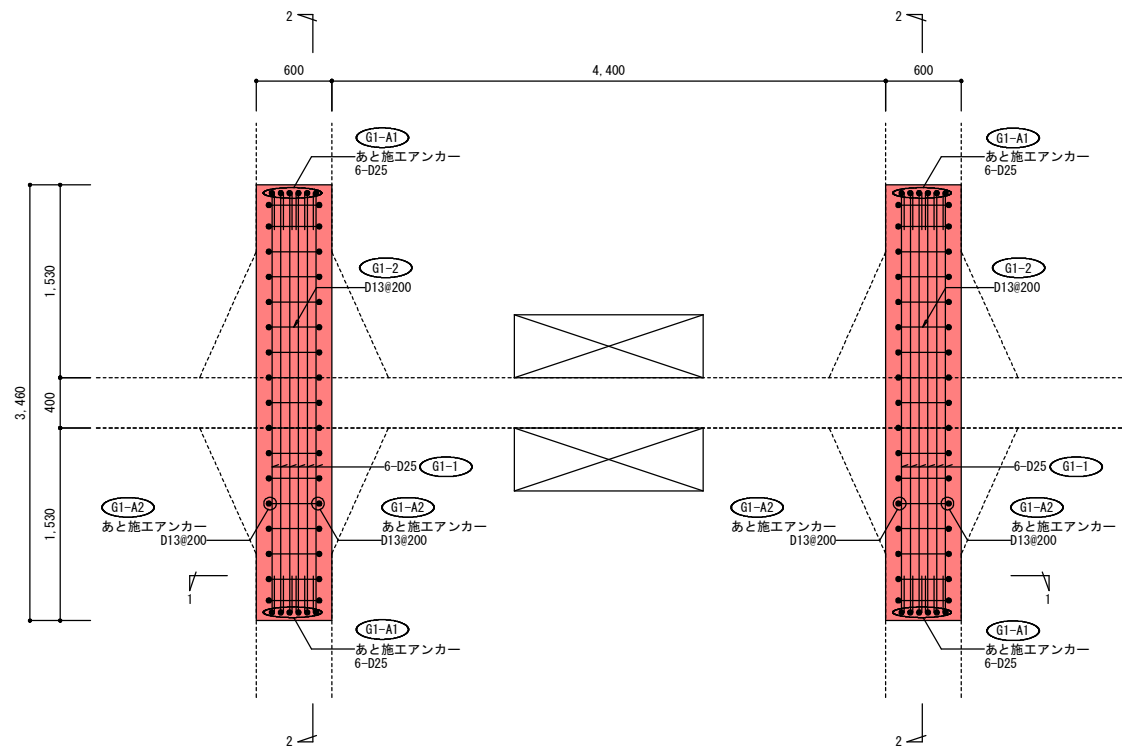
1-1断面配筋図 1/50



KEY PLAN

実施

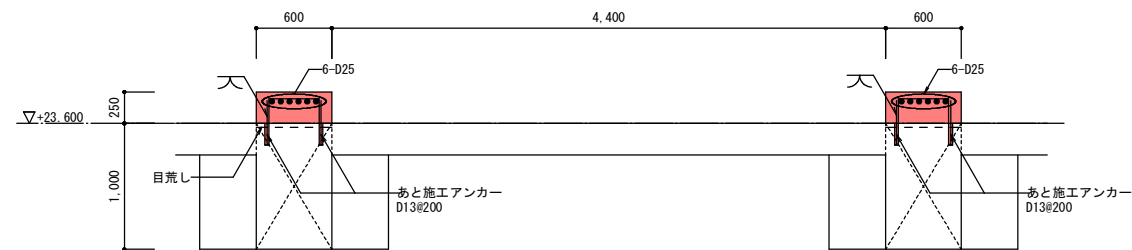
宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事		
図面名	最初沈殿池 増打補強配筋図(1)		
縮尺	1/50	番号	全 20 葉之内 10 号
福岡県流域下水道事務所			



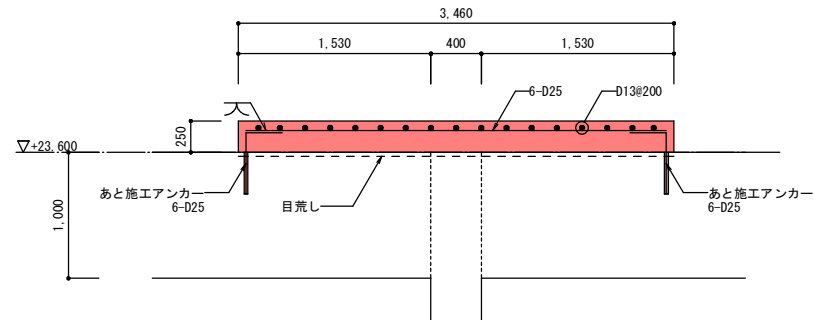
最初沈殿池 梁増打補強配筋図 1/30

- 特記なき限り
- ・既設鉄筋位置を探索の上、施工を行うこと
 - ・あと施工アンカーの有効埋込長は12dとする
 - ・---印は目荒しの範囲を示す
 - ・() 内符号は既存図部材符号を示す

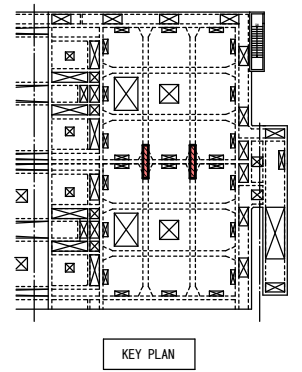
既存梁リスト	
断面	全断面
上端筋	6-D25
下端筋	6/2-D25
スタラップ	□-D13#200
腹筋	4-D19



1-1断面配筋図 1/30

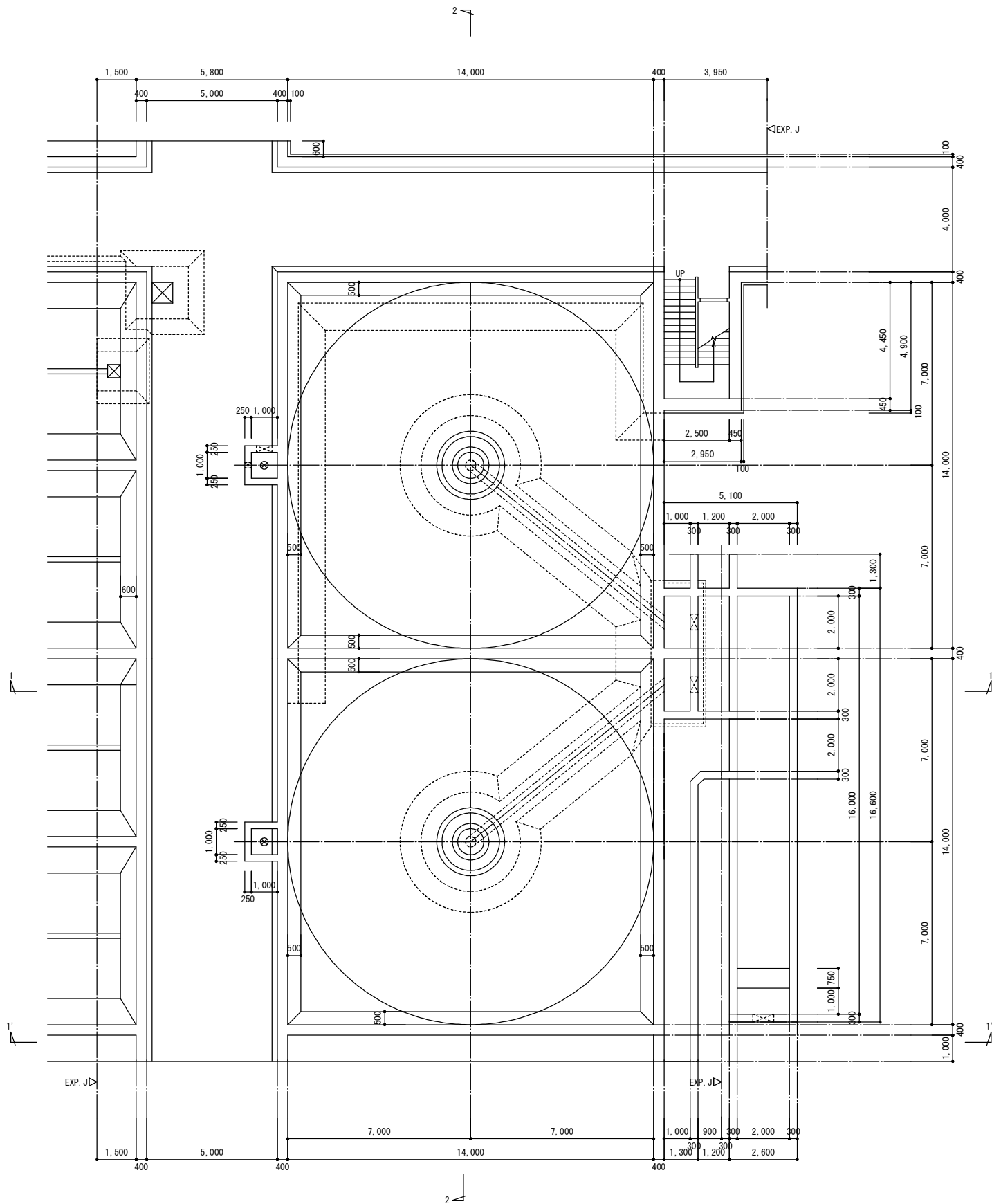


2-2断面配筋図 1/30



実施

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事		
図面名	最初沈殿池 増打補強配筋図(2)		
縮尺	1/30	番号	全20葉之内11号
福岡県流域下水道事務所			

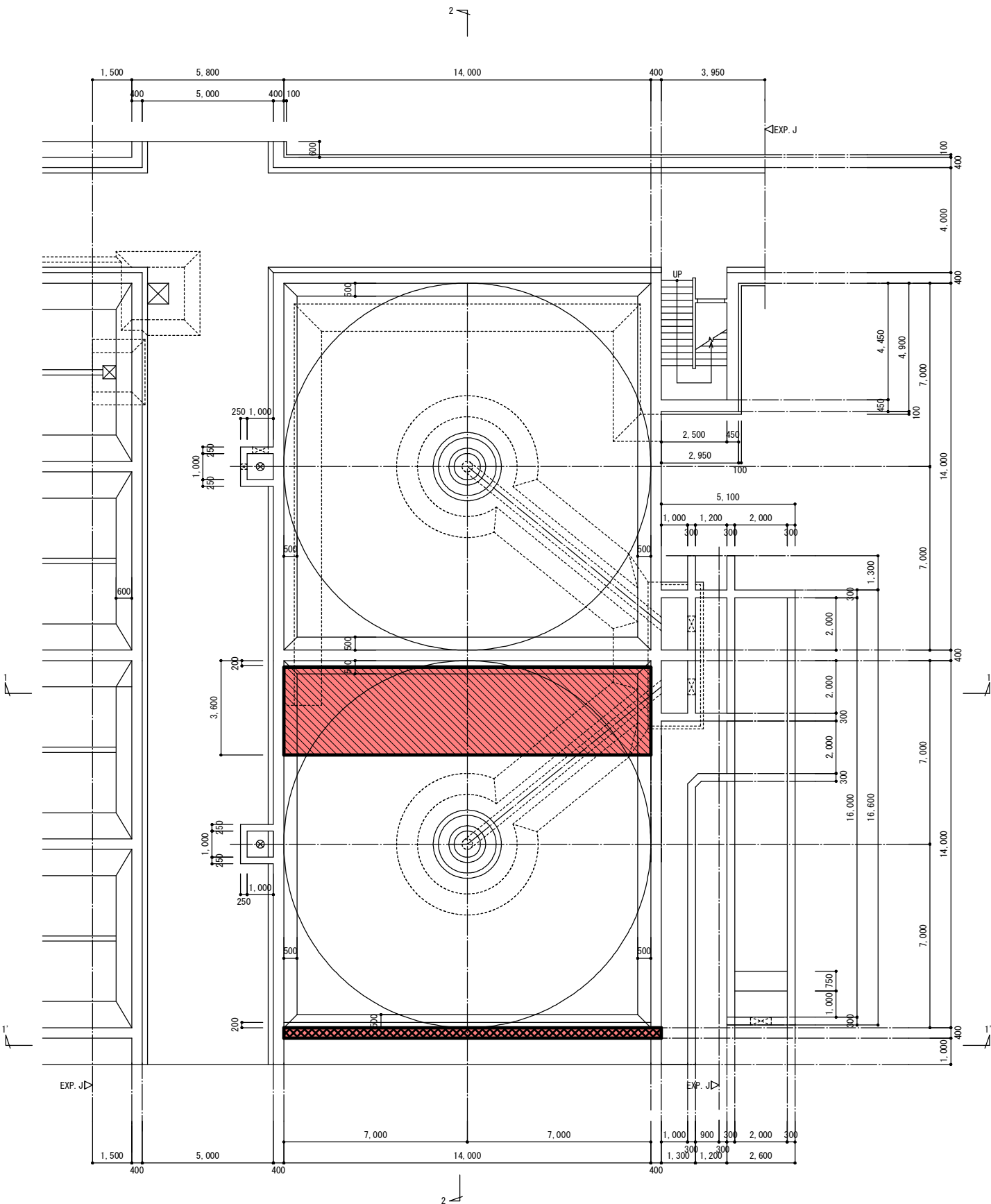


最初沈殿池 下部伏図（改修前） S=1/100

実施

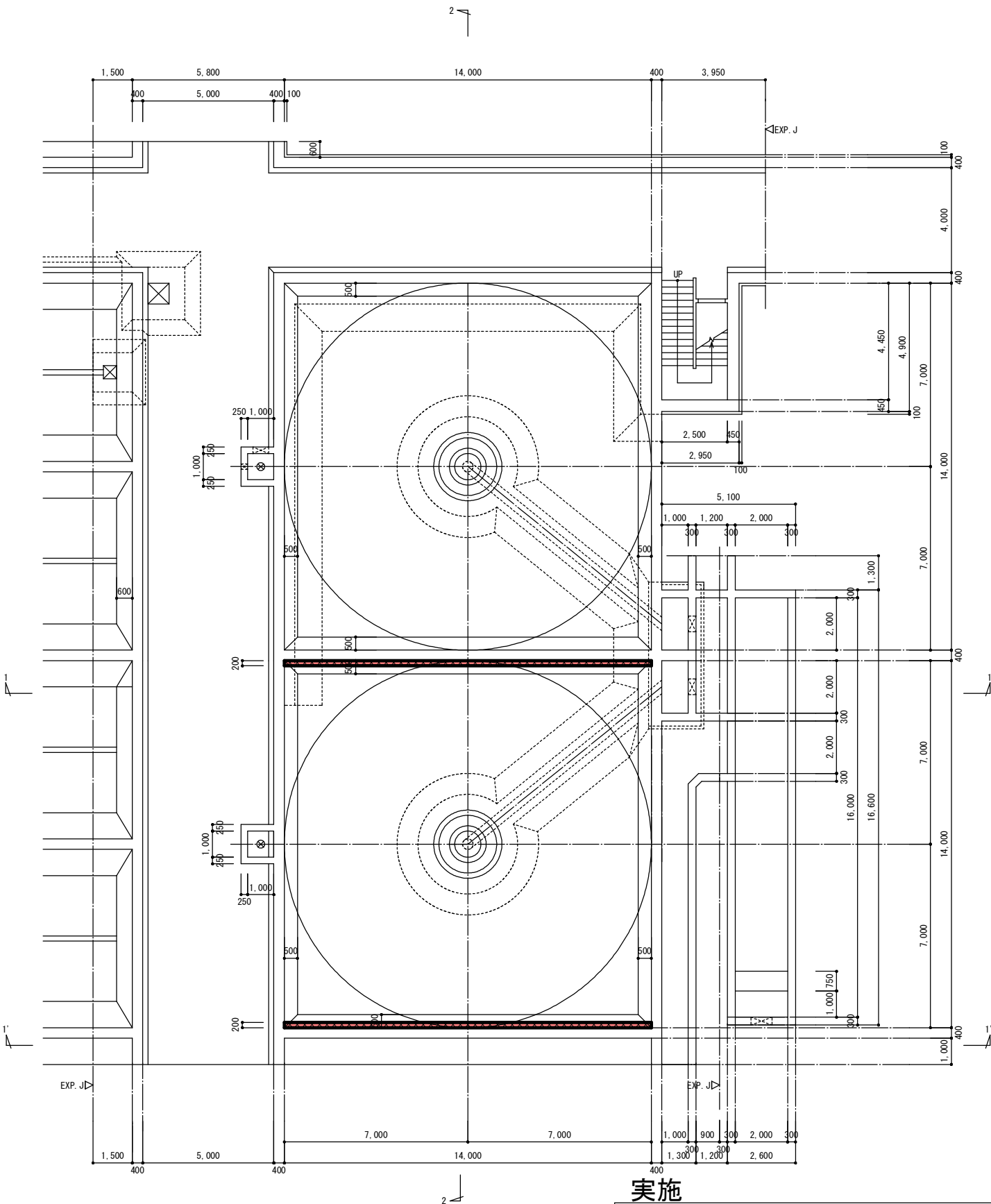
宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事		
図面名	最初沈殿池 下部伏図（改修前）		
縮尺	1/100	番号	全20葉之内12号
福岡県流域下水道事務所			

改修後



最初沈殿池（改修後）あと施工せん断補強	S=1/100
特記なき限り	
・印はあと施工せん断補強(底版)の範囲を示す	
・印はあと施工せん断補強(壁)の範囲を示す	

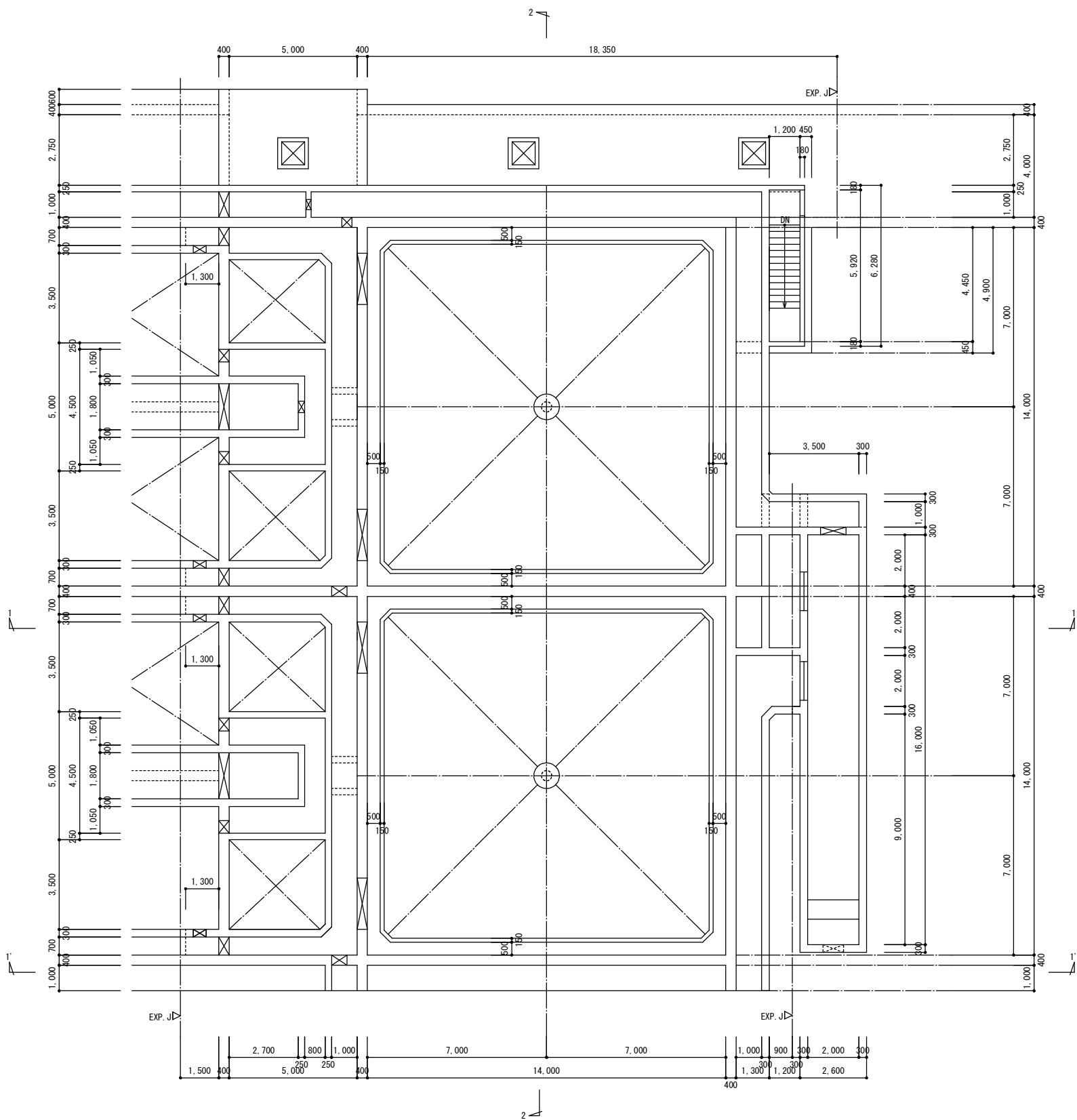
改修後



最初沈殿池（改修後）増打補強	S=1/100
特記なき限り	
・印は増打補強(壁)の範囲を示す	

実施

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事		
図面名	最初沈殿池 下部伏図(改修後)		
縮尺	1/100	番号	全20葉之内13号
福岡県流域下水道事務所			



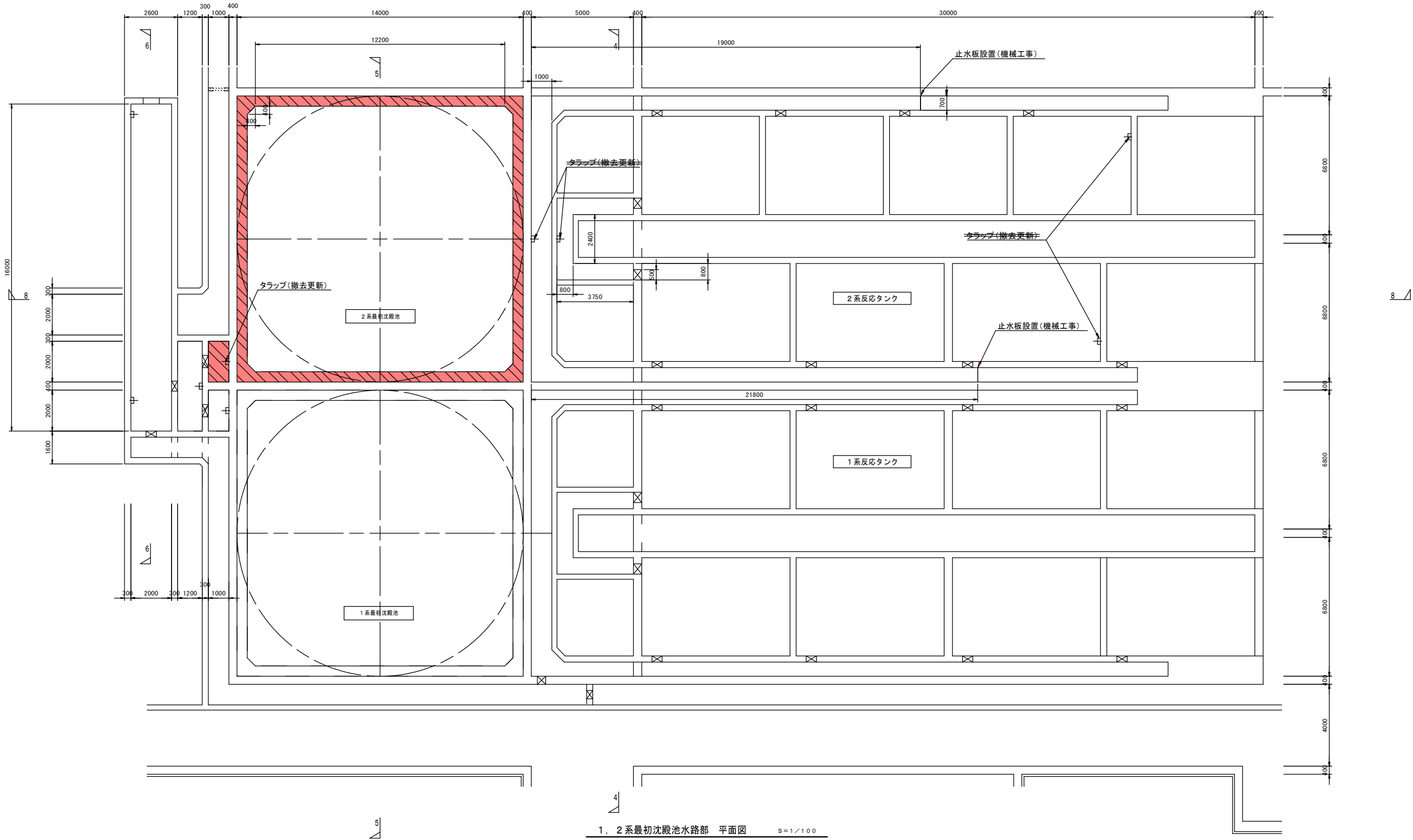
最初沈殿池 水路部伏図(改修前) S=1/100

特記なき限り

・補強無し

実施

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事		
図面名	最初沈殿池 水路部伏図(改修前)		
縮尺	1/100	番 号	全 20 葉之内 14 号
福岡県流域下水道事務所			



1. 2系最初沈殿池水路部 平面図 S=1/100

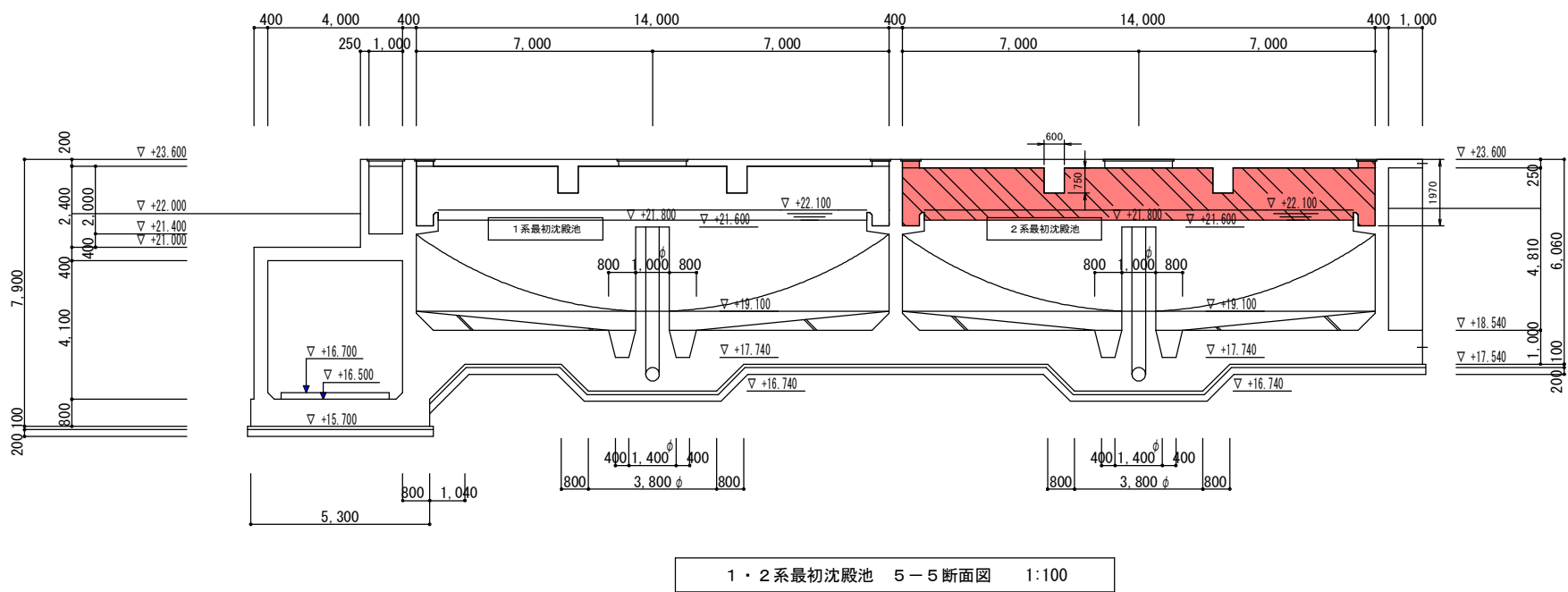
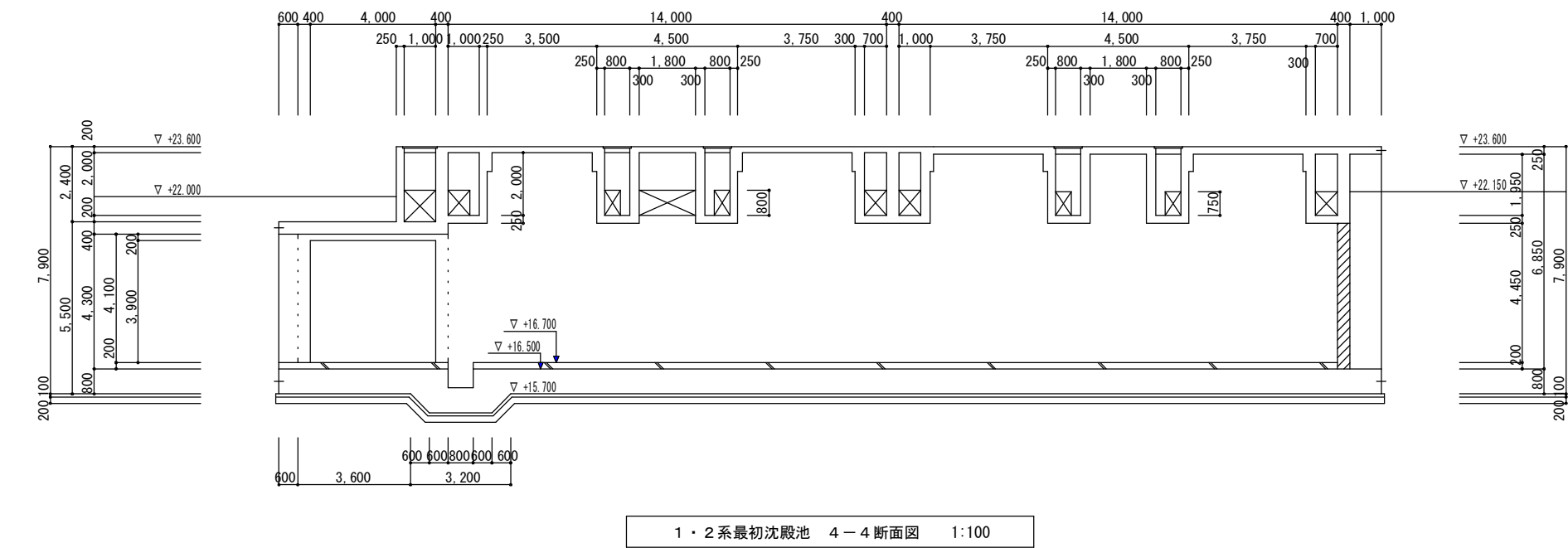
防食仕様:塗布型C種								
対象施設	凡 例	部 位					設計 腐食環境	点検・修繕・改築 の難易性
		床	壁	天 井	役物	合 計		
2系最初沈殿池		2.0 m ²	221.9 m ²	262.3 m ²	0.0 m ²	486.2 m ²	Ⅱ 類	容易
2系反応タンク		49.1 m ²	283.4 m ²	7.0 m ²	0.0 m ²	339.5 m ²	Ⅱ 類	容易

防食仕様:塗布型D種								
対象施設	凡 例	部 位					設計 腐食環境	点検・修繕・改築 の難易性
		床	壁	天 井	役物	合 計		
スカムビット		1.0 m ²	9.8 m ²	1.0 m ²	0.0 m ²	11.8 m ²	I 類	容易

※劣化部除去および断面修復の施工範囲についても同範囲とする。
※劣化部除去深さ、断面修復厚さについては、コンクリートの調査を行い、監督員と協議すること。

実施

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事		
図面名	1・2系最初沈殿池 防食塗装 平面図		
縮 尺	1/100	番 号	全 20 葉之内 15 号
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			



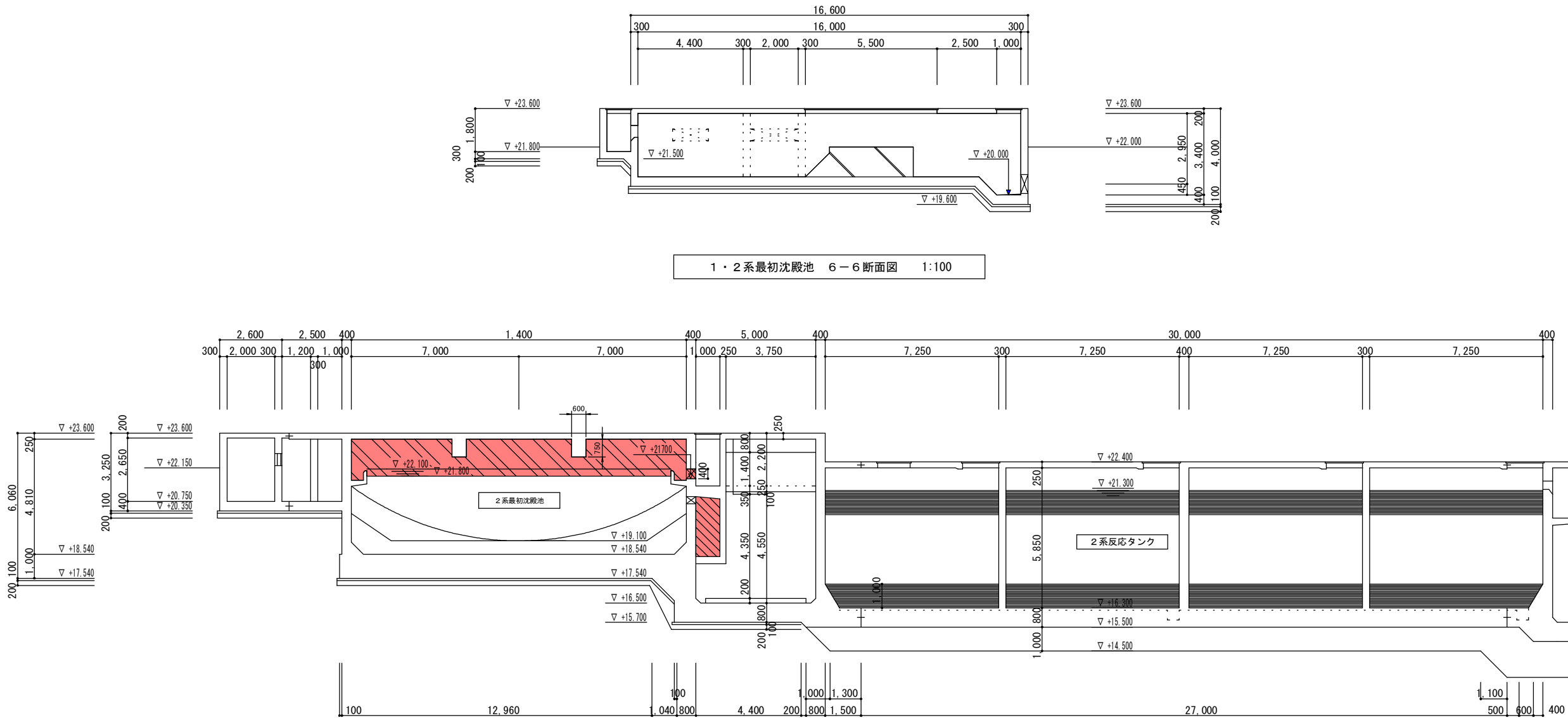
防食仕様:塗布型C種								
対象施設	凡 例	部 位					設計 腐食環境	点検・修繕・改築 の難易性
		床	壁	天 井	役物	合 計		
2系最初沈殿池		2.0 m ²	221.9 m ²	262.3 m ²	0.0 m ²	486.2 m ²	Ⅱ類	容易
2系反応タンク		49.1 m ²	283.4 m ²	7.0 m ²	0.0 m ²	339.5 m ²	Ⅱ類	容易

防食仕様:塗布型D種								
対象施設	凡 例	部 位					設計 腐食環境	点検・修繕・改築 の難易性
		床	壁	天 井	役物	合 計		
スカムビット		1.0 m ²	9.8 m ²	1.0 m ²	0.0 m ²	11.8 m ²	I 類	容易

※劣化部除去および断面修復の施工範囲についても同範囲とする。
※劣化部除去深さ、断面修復厚さについては、コンクリートの調査を行い、監督員と協議すること。

実施

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事		
図面名	1・2系最初沈殿池 防食塗装 断面図 (1)		
縮 尺	1/100	番 号	全 20 葉之内 16 号
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			



1・2系最初沈殿池 6－6断面図 1:100

1・2系最初沈殿池 8－8断面図 1:100

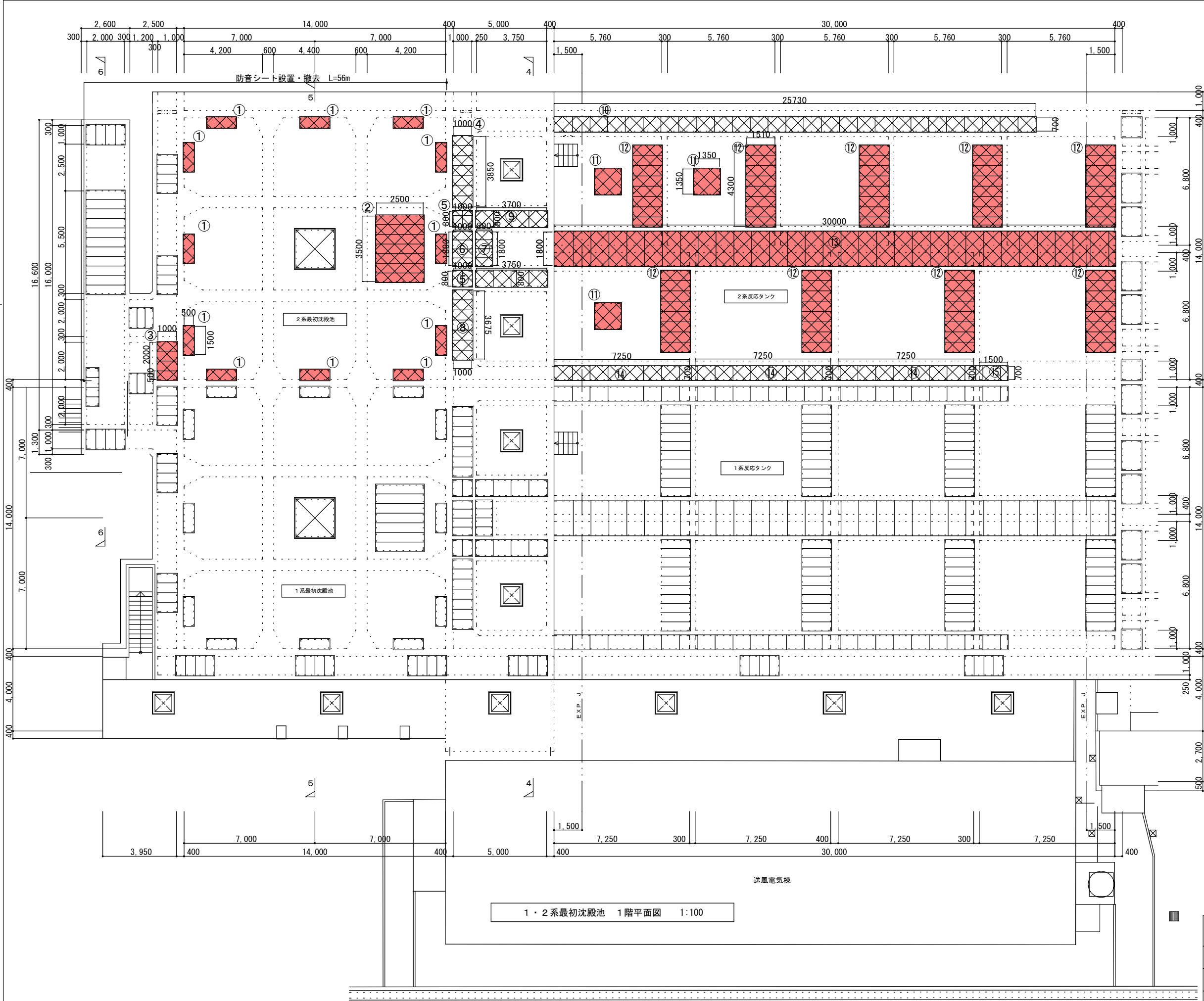
防食仕様:塗布型C種								
対象施設	凡 例	部 位					設計 腐食環境	点検・修繕・改築 の難易性
		床	壁	天 井	役物	合 計		
2系最初沈殿池		2.0 m ²	221.9 m ²	262.3 m ²	0.0 m ²	486.2 m ²	Ⅱ 類	容易
2系反応タンク		49.1 m ²	283.4 m ²	7.0 m ²	0.0 m ²	339.5 m ²	Ⅱ 類	容易

防食仕様:塗布型D種								
対象施設	凡 例	部 位					設計 腐食環境	点検・修繕・改築 の難易性
		床	壁	天 井	役物	合 計		
スカムピット		1.0 m ²	9.8 m ²	1.0 m ²	0.0 m ²	11.8 m ²	I 類	容易

※劣化部除去および断面修復の施工範囲についても同範囲とする。
※劣化部除去深さ、断面修復厚さについては、コンクリートの調査を行い、監督員と協議すること。

実施

宝 満 川 流 域 下 水 道 事 業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事		
図面名	1・2系最初沈殿池 防食塗装 断面図 (2)		
縮 尺	1/100	番 号	全 20 葉之内 17 号
福 岡 県 流 域 下 水 道 事 務 所			

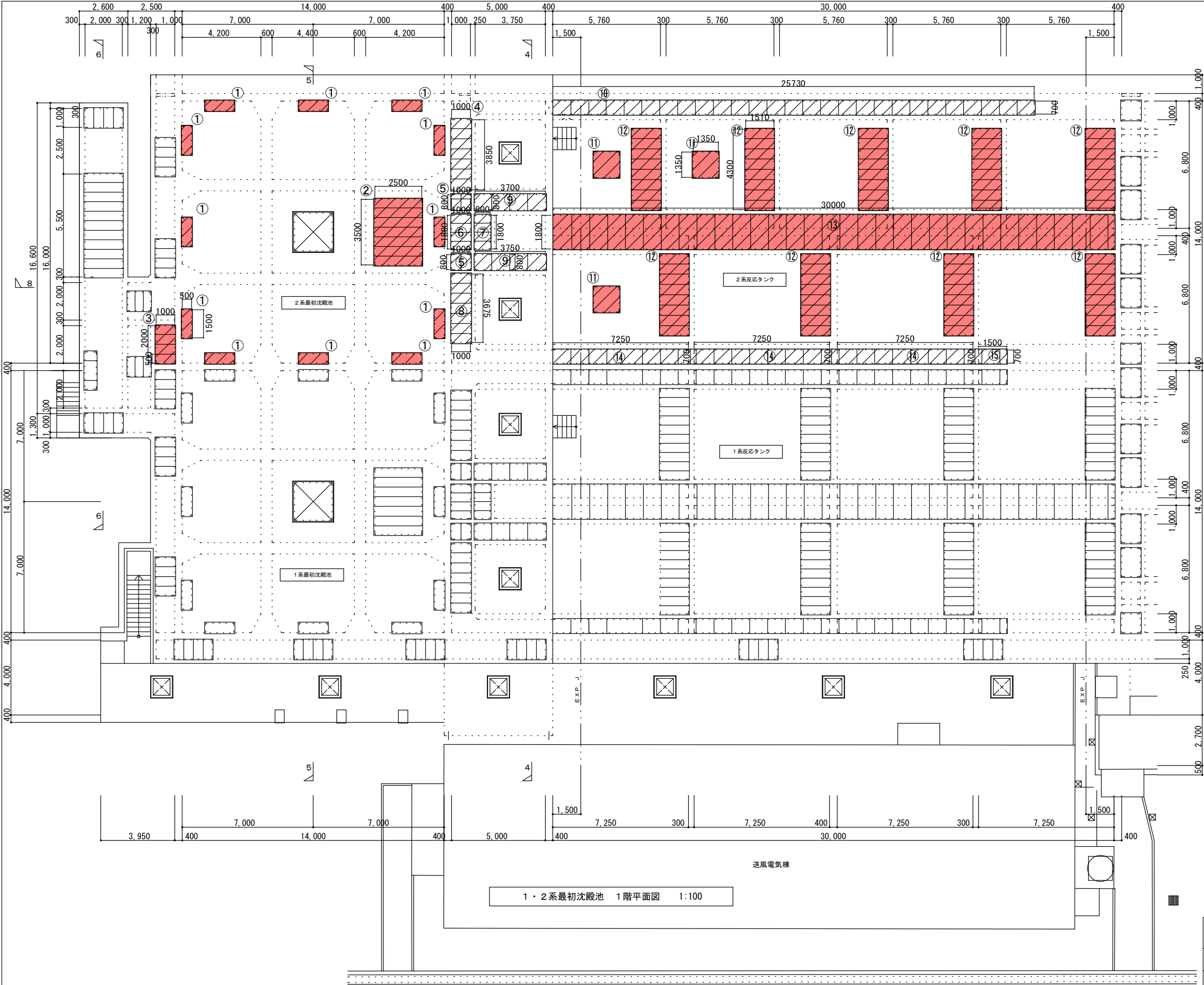


8

実施

簡易覆蓋既設撤去 凡例
FRP蓋

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事		
図面名	1・2系最初沈殿池1F平面図（撤去）		
縮尺	1/100	番号	全 20 葉之内 18 号
福岡県流域下水道事務所			



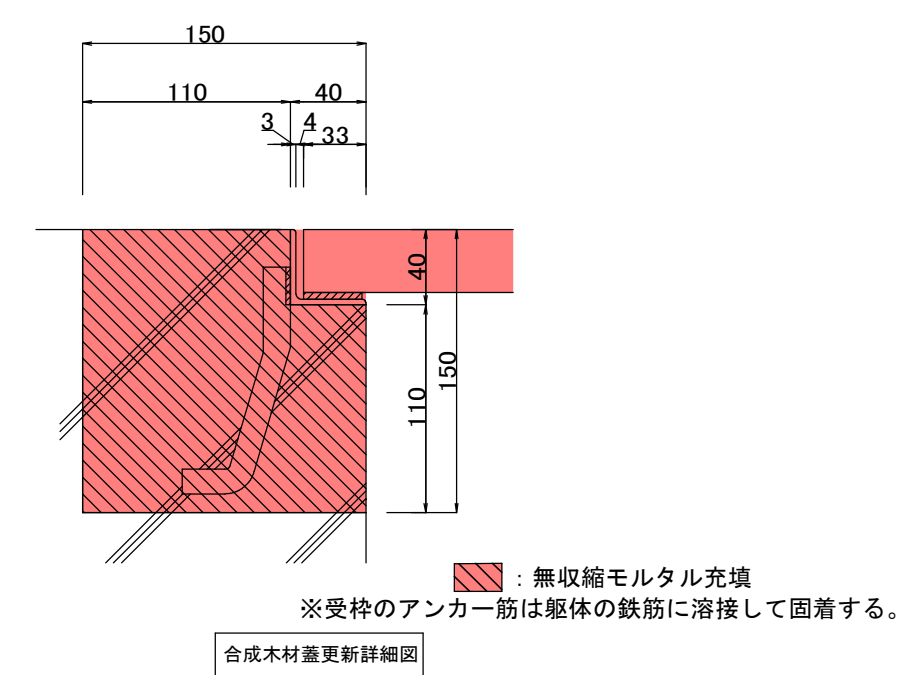
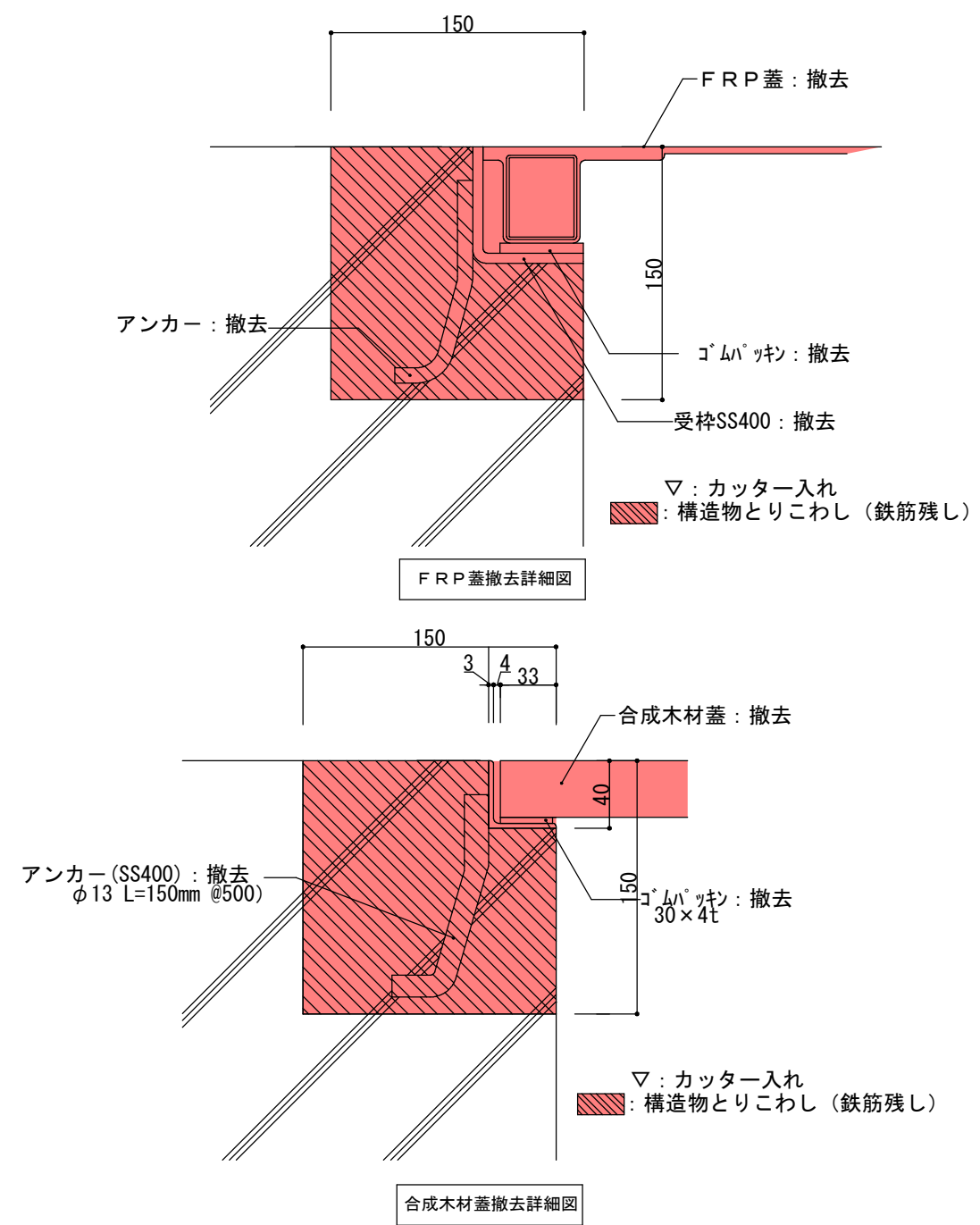
名称	B	H	開口寸法		個数
①	33	37	500	1500	12
②	33	37	2500	3500	1
③	33	37	1000	2000	1
④	33	37	1000	3850	1
⑤	33	37	1000	800	2
⑥	33	37	1000	1800	1
⑦	33	37	800	1800	1
⑧	33	37	1000	3675	1
⑨	33	37	800	3750	2
⑩	33	37	700	25730	1
⑪	33	37	1350	1350	3
⑫	33	37	1510	4300	9
⑬	33	37	1800	30000	1
⑭	33	37	700	7250	3
⑮	33	37	700	1500	1

実施

簡易覆蓋更新 凡例

合成木材蓋

宝満川流域下水道事業			
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事		
図面名	1・2系最初沈殿池1F平面図（更新）		
縮尺	1/100	番号	全 20 葉之内 19 号
福岡県流域下水道事務所			



実施

宝満川流域下水道事業				
工事名	宝満川浄化センター水処理2系列最初沈殿池耐震及び防食工事			
図面名	簡易覆蓋撤去更新詳細図			
縮尺	図示	番号	全20葉之内20号	
福岡県流域下水道事務所				